

モータリレー形SEモデルチェンジのお知らせ

モータリレー形SEをモデルチェンジします。

対象機種

- ・形SEシリーズ

変更内容

詳細については2ページ～6ページをご参照ください。

新旧形式対照表

7ページをご参照ください。

旧製品の製造可否

1992年3月末日まで可能です。

製作仕様書の変更

需要家様に提出しています製作仕様書は差し替えが必要です。

実施時期

*1991年2月工場出荷分より実施しています。

形SE新形品と従来品の仕様比較表

仕 様 項 目	新 形 品		従 来 品	
定格制御電源電圧	• 100/110/120VAC • 200/220/240VAC • 380/400/440VAC		• 110/120VAC • 200/220VAC • 400/440VAC • 110/120VAC • 220/240VAC • 380/415VAC	
定格周波数	50/60Hz		50/60Hz	
制御電源の負担	• 100/110/120VAC…約3.5VA (120V時) • 200/220/240VAC…約7VA (240V時) • 380/400/440VAC…約11VA (440V時)		5VA以下	
出力接点	1C AC11級		1C 200VAC 7.5A (COS ϕ =1.0) 〃 3A (COS ϕ =0.4)	
	a	240VAC 3A (COS ϕ =1.0) 1.5A (COS ϕ =0.3~0.4)		
	b	240VAC 3A (COS ϕ =1.0) 2A (COS ϕ =0.3~0.4)		
	接点	440VAC 3A (COS ϕ =1.0) 1.5A (COS ϕ =0.3~0.4)		
使用温度範囲	-10~60℃		-10~60℃	
動作表示	• ボタン飛出し (プラグイン形、パネルマウント形とも) • 過負荷・欠相・反相要素別LED表示		• プラグイン形…ボタン飛出し • 埋込取付形…ターゲット	
テストスイッチ	瞬時動作		限時動作 (過負荷要素へ入力)	
機能整定スイッチ	• 過負荷要素：入一切 • 欠相要素：入一切 • 動作不平衡率感度切換 H整定：35% L整定：65% • 反相要素：入一切			
電流整定目盛	4-5-6-7-8-9-10 連続		4-5-6-7-8-9-10 連続	
時間整定目盛	1-2-3-4-5-6-7-8-9-10 連続		2-3-4-5-6-7-8-9-10 連続	
過負荷動作値	115±10%		115±10%	
欠相動作値	整定値の50%以下		• 一般形、Y形…過負荷動作値の75%以下 • YL形…整定値の50%以下	
動作不平衡率	H整定：35±10% L整定：65±10%		• 一般形…35±10% • Y形、YL形…60%以上	
反相動作値	定格電圧の80%以下		定格電圧の80%以下	

形SE新形品と従来品の仕様比較表

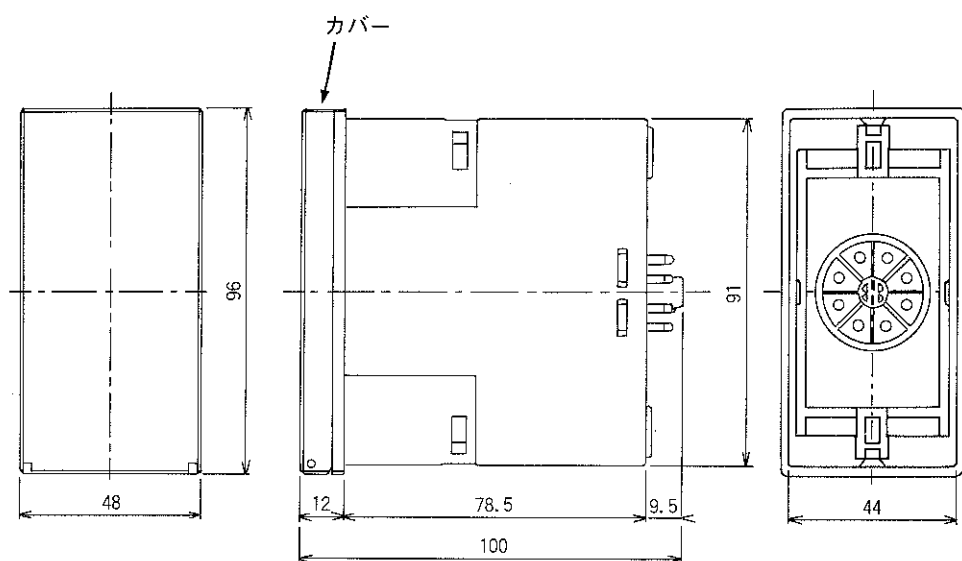
仕 様 項 目	新 形 品	従 来 品
・反限時形過負荷動作時間 ・瞬時形起動時ロック時間	・600%入力で1～40秒 誤差 ・目盛：1 最大整定値の$\pm 10\%$ ・目盛：2～10 最大整定値の$\pm 10\%$ ・200%入力で、600%入力での動作時間の 2.8倍 $\pm 30\%$ (最大時間整定値において) * 反限時形のみ適用する。	500%入力で2～40秒 誤差：最大整定値の $\pm 10\%$ (2～10秒→ ± 1 秒) (8～40秒→ ± 4 秒) _____
欠相動作時間	H整定… 2 秒以下 L整定… 3 ± 1 秒	・一般形…2秒以下 ・Y 形……3秒以下 ・YL形……2～4秒
反相動作時間	0.5秒以下	・一般形…0.5秒以下 ・YL形……1秒以下
瞬時形過負荷動作時間	140%で0.5秒以下	140%で0.5秒以下
瞬時形起動時ロック時間 始動電流値	電流整定値の約30%	電流整定値の約30%
過負荷要素慣性特性	最大時間整定にて 600%電流を80%の時間通電で、動作 しないこと。 * 反限時形のみ適用する。	_____
過負荷要素の復帰値	電流整定値の100%以上 * 自動復帰形のみ適用する。	電流整定値の100%以上 * 自動復帰形のみ適用する。
<u>温度の影響</u> ・過負荷動作値 ・過負荷動作時間 (起動時ロック時間)	・0～40℃ ……$\pm 5\%$ ・-10～50℃ …$\pm 10\%$ ・0～40℃ ……$\pm 10\%$ ・-10～50℃ …$\pm 20\%$	・0～40℃ …$\pm 5\%$ _____ ・0～40℃ …$\pm 20\%$ _____
<u>周波数の影響</u> 過負荷動作値 ・過負荷動作時間 (起動時ロック時間)	定格周波数の $\pm 5\%$ 変化で $\pm 3\%$ $\pm 5\%$	定格周波数の $\pm 5\%$ 変化で $\pm 3\%$ $\pm 5\%$
<u>制御電圧の影響</u> ・過負荷動作値 ・過負荷動作時間 (起動時ロック時間)	定格電圧の $\pm 10\%$ 変化で $\pm 3\%$ $\pm 5\%$	定格電圧の $\pm 10\%$ 変化で $\pm 3\%$ $\pm 10\%$

新SE新形品と従来品の仕様比較表

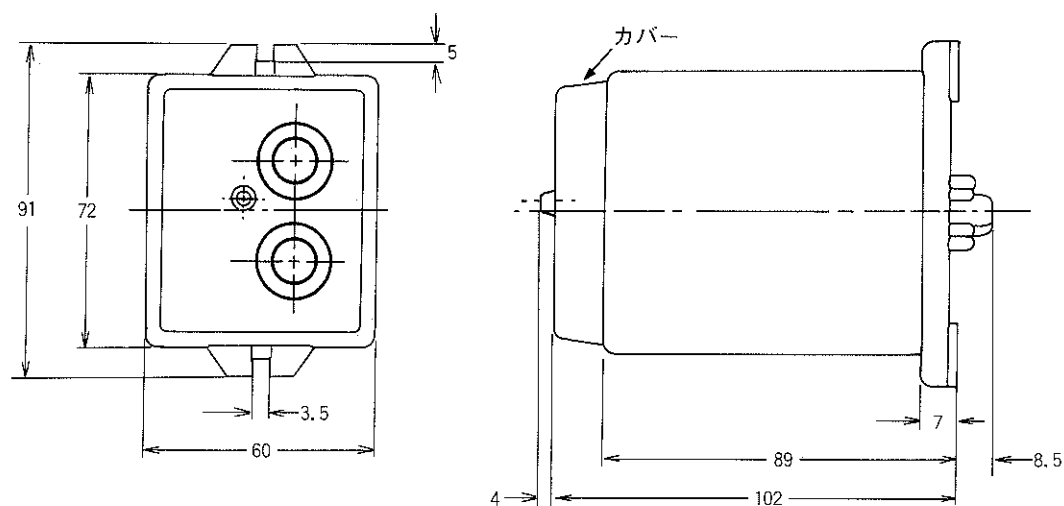
仕 様 項 目		新 形 品	従 来 品
<u>絶縁抵抗</u>			
- 電気回路－取付パネル間 - 接点回路－他の回路間 - 接点極間		10 M Ω 以上 5 M Ω 以上 5 M Ω 以上	10M Ω 以上 5 M Ω 以上 ———
耐電圧		100/110/120V 200/220/240V	380/400/440V
- 電気回路－取付パネル間 - 接点回路－他の回路間 - 接点極間		2000VAC 2000VAC 1000VAC	2500VAC 2500VAC 1000VAC
(全機種) 2000VAC 1500VAC ———			
雷インパルス耐電圧		1.2/50 μ s波形	1/40 μ s波形
- 電気回路－取付パネル間 - 接点回路－他の回路間 - 制御電源端子間		6000V 4500V 4500	4500V ——— 3000V
<u>過負荷耐量</u>			
- 電流 (SET-3) 回路 - 制御電圧回路		20倍, 2 秒, 2 回 1.15倍, 3 時間, 1 回	40倍, 1 秒, 1 回 ———
耐久性 (接点通電せず)		10000回	———
<u>耐振動</u>			
- 誤動作 - 耐久		10～55Hz,0.3mm,X・Y・Z 10分間 10～25Hz, 2mm,X・Y・Z 2時間	16.7Hz,1mm,X・Y・Z 10分間 ———
<u>耐衝撃</u>			
- 誤動作 - 耐久		X・Y・Z,100m/S ² (約10G) X・Y・Z,300m/S ² (約30G)	——— X・Y・Z,300m/S ² (約30G)
重量		170～230 g	390～620g
外形寸法		付図による	付図による
接続ソケット		形8PFA1 表面接続ソケット ———	- 形8PFA1 表面接続ソケット - 形PLO8 裏面接続ソケット
添付品	取扱説明書	添付あり	添付あり
	検査成績表	添付なし (要求時のみ提出する)	添付なし
インバータ・サイリスタ 制御負荷での使用		原則として、使用できず	原則として、使用できず

プラグイン形 外形寸法

新
形
品

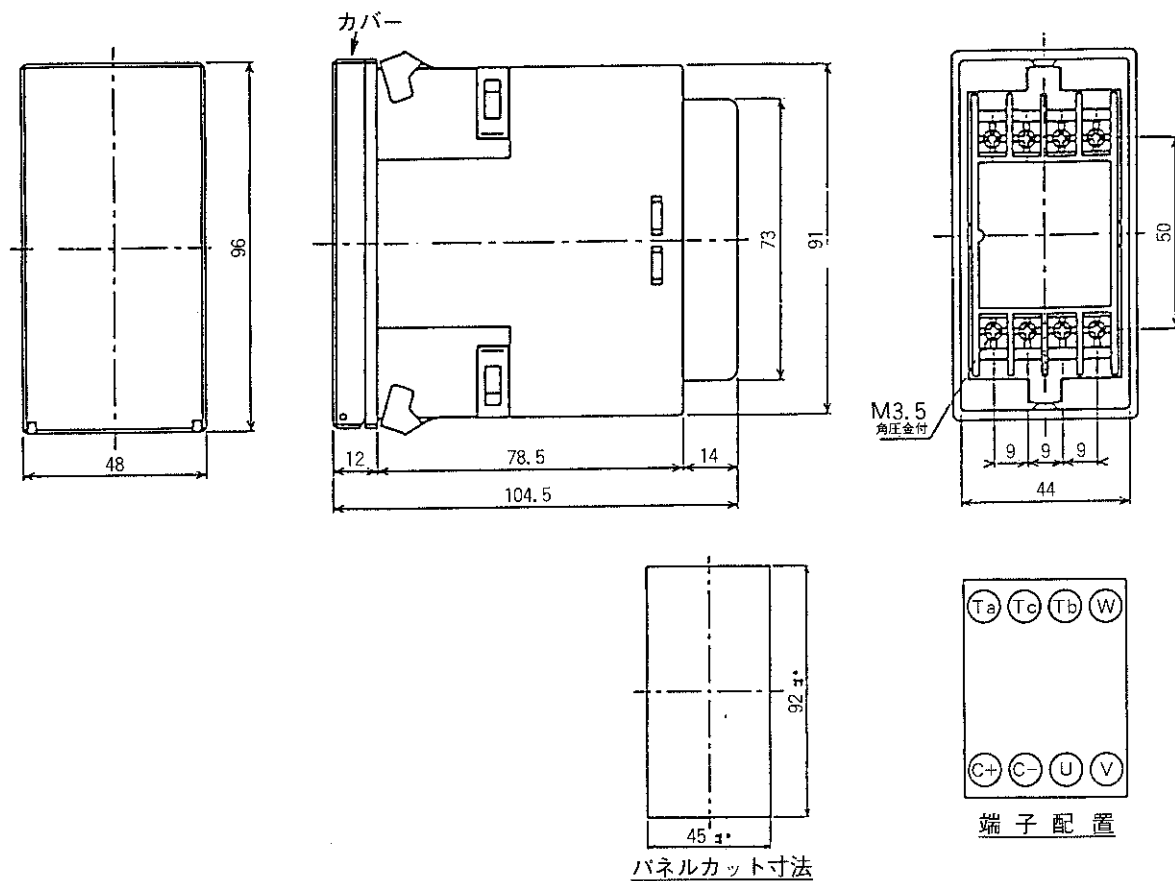


従
来
品

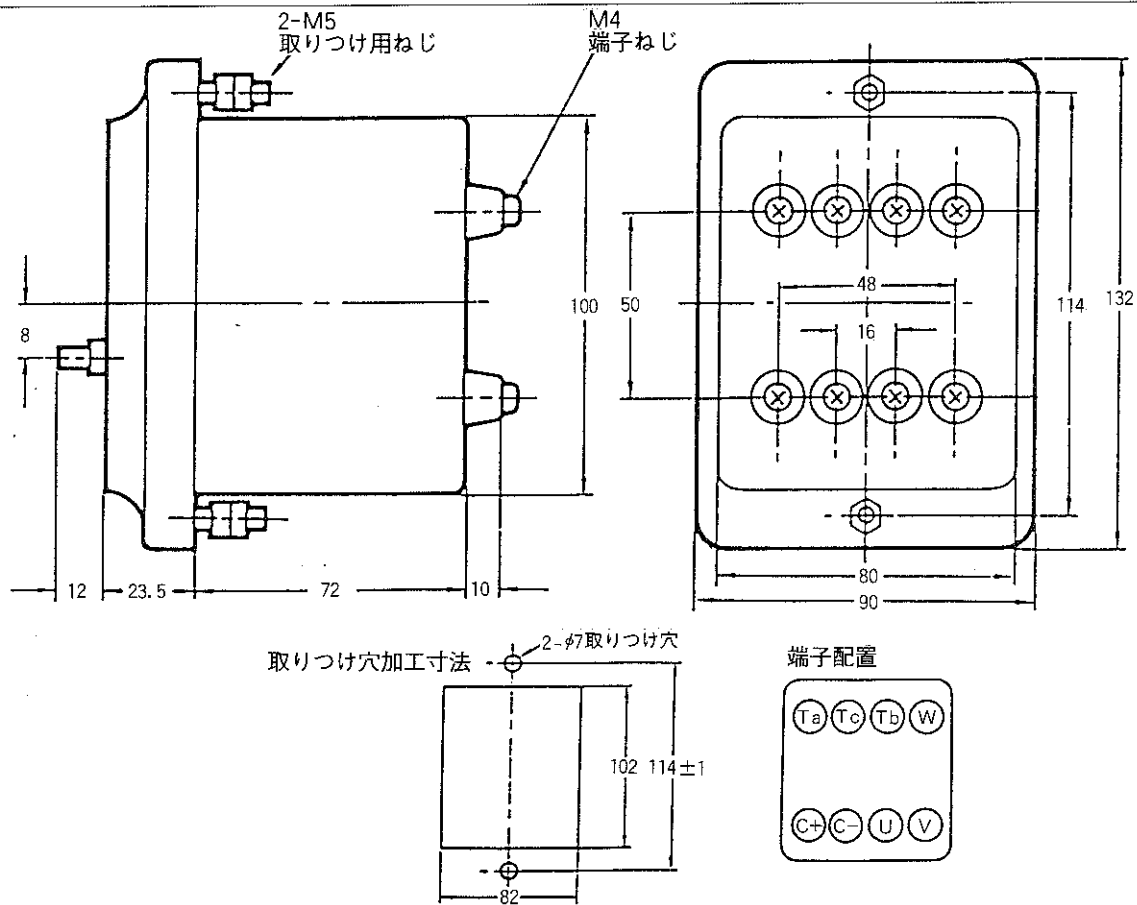


パネルマウント形 外形寸法

新
形
品



従
来
品



新形品と従来品の形式対象表

新形品形式	従 来 品 形 式	
	3Eリレー	2Eリレー
形SE-KP1N	形SE-KP1	形SE-AP1
	形SE-KP1Y	形SE-AP1Y
	形SE-KP1YL	形SE-AP1YL
形SE-KP1AN	————	形SE-AP1A
形SE-KP2N	形SE-KP2	形SE-AP2
	形SE-KP2Y	形SE-AP2Y
	形SE-KP2YL	形SE-AP2YL
形SE-KP2AN	————	形SE-AP2A
形SE-K1N	形SE-K1	形SE-A1
	形SE-K1Y	形SE-A1Y
	形SE-K1YL	形SE-A1YL
形SE-K1AN	————	形SE-A1A
形SE-K2N	形SE-K2	形SE-A2
	形SE-K2Y	形SE-A2Y
	形SE-K2YL	形SE-A2YL
形SE-K2AN	————	形SE-A2A
形SE-K4N	形SE-K4	形SE-A4
	形SE-K4Y	形SE-A4Y
	形SE-K4YL	————
形SE-KQP1N	形SE-KQP1	形SE-AQP1
	形SE-KQP1Y	形SE-AQP1Y
形SE-KQP1AN	————	形SE-AQP1A
形SE-KQP2N	形SE-KQP2	形SE-AQP2
	形SE-KQP2Y	形SE-AQP2Y
形SE-KQP2AN	————	形SE-AQP2A
形SE-KQ1N	形SE-KQ1	形SE-AQ1
	形SE-KQ1Y	形SE-AQ1Y
	————	形SE-AQ1YL
形SE-KQ1AN	————	形SE-AQ1A
形SE-KQ2N	形SE-KQ2	形SE-AQ2
	形SE-KQ2Y	形SE-AQ2Y
	————	形SE-AQ2YL
形SE-KQ2AN	————	形SE-AQ2A
形SE-KQ4N	形SE-KQ4	形SE-AQ4
	形SE-KQ4Y	形SE-AQ4Y